

地域活性化について



菊池 孝 議員

【鉦光】 地区振興会の重要性が増しているが、活動状況はどうか。
【企画部長】 昨年の6・7月に、全51地区振興会にアンケートを実施して、4分の3の地区が活発になったと回答があった。

【鉦光】 地域づくりの課題は。
【企画部長】 人材育成、防犯対策、伝統文化の継承、青少年交流などの意見があった。

【鉦光】 市の人的、財政的支援は不可欠と思うがどうか。
【企画部長】 平成22年度、宝島づくりチャレンジ支援交付金制度を創設して、他地域のモデルとなる先進地事業、コミュニティビジネスの創設、少子高齢化の対応など3分野へ支援を行い、3年間で、26団体が活用している。アドバイザー制度の導入やポータルサイトを構築して、地域づくりをしつかりと支援する。

【鉦光】 去年、天草市社会福祉協議会主催による出会いバスツアーが



バスツアーの交流会

県の補助金などを活用して実施され、6組のカップルが誕生した。市も率先して出会いの場づくりを実施すべきではないか。
【健康福祉部長】 来年度に向けて公的機関団体に、補助が可能であるか前向きに検討する。

【通学路の安全確保について】

【鉦光】 登下校中における子供たちの事件・事故が発生しているが、通学路の安全確保をどう考えるか。
【教育部長】 通学路における点検などについては、実施要領に基づき実施している。不審者対策は具体的な行動を指導している。防犯灯の必要力所については調査をしている。今後は防災交通課で対応する。

天草ジオパーク構想について



黒田 忠広 議員

【黒田】 御所浦白亜紀資料館の建設は、旧町時代からの地域住民の悲願である。天草御所浦ジオパーク構想計画や、天草ジオパーク構想計画、市の全島博物館構想計画にも建設の重要性が盛り込まれている。建設計画の現状を知りたい。

【教育部長】 白亜紀資料館は、開館15周年を迎えたが、御所浦島開発総合センターを間借りした状況。資料館整備については、「全島博物館構想」でアクセスや立地条件を再検討し、館の建設を目指すとしており、天草御所浦ジオパーク構想及び天草ジオパーク構想と連携を図り、今後も継続して検討する。

【黒田】 天草ジオパーク構想では平成25年に申請するとなっているが、現在の天草地域には解説板、標識、ガイドブック、ガイド人、モデルコースもない。申請時期は遅れても整備が整った時点で申請を判断すべきではないか。
【市長】 2市1町で連携を計り当初の計画どおり、25年度中の日本ジ

オパーク認定申請に向けて全力を尽くす。

【黒田】 市長は天草ジオパーク構想推進協議会の会長だが、協議会の判断として、平成25年の申請にかかわらず、きちんと整備し、申請することを選択肢の一つとして考えるよう、提案する。

【市長】 現時点では25年度の認定申請に向けて全力を尽くす考えであります。しかし、2市1町との協議になります。今後、選択肢の一つとして考えていくべき事と考えますので、ご理解をお願いいたします。



弁天島の恐竜足跡化石

環境問題への今日的接近と対策・教育のあり方



池田 良正 議員

【蓮池】 豊かな自然をまもり、に反する動き。火力発電所から出る石炭灰(フライアッシュ)を材料にした建設材料が市内でも使えるように変更されているのはなぜか。

【市民環境部長】 苓北町内での使用に限られていたが、県より安全性に適合すると判断され、条件解除された。

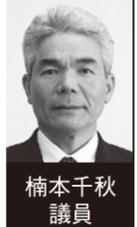
【蓮池】 健康な体と人権を奪う水俣病からの被害者救済申請受付は、閉じるべきではない。市長・市はどういう対応をとる方向なのか。
【市長】 関係自治体と連携、情報を共有しながら、一人でもこの申請について知らなかったということがないように、最善の努力をしていく。

【蓮池】 自然生態系の乱れからの警鐘「イノシシ関連タニ被害」「貝毒被害」市の対応と経緯、今後の方針は。
【経済部長】 イノシシをかんだマダニが病原体「日本紅斑熱」を体内で増殖し、野生動物などを介して夏の時期に発生すると聞いています。関係機関と協議していく。カ

【蓮池】 教育の独立性「教科書選定」などについては、毅然に対応を。教育長 基本的な意義を踏まえて教育行政にあたるべきと考えている。

【蓮池】 教師の多忙化防止・提出物の軽減を。
【教育部長】 教師の負担が増さないように指導をしている。

市民の健康対策について



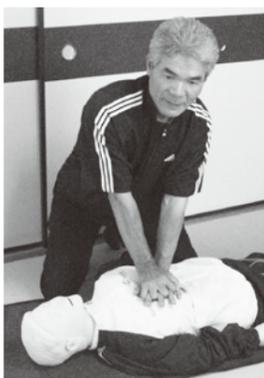
楠本 千秋 議員

【男性の骨粗しょう症について】
【楠本】 約230万人の男性が骨粗しょう症と推定されている。市の定期健診の受診項目にできないか。

【市長】 現在、県の補助事業で女性のみを対象に実施し、今後、男性の健診についても、前向きに検討する。

【AED(体外式除細動機器)について】
【楠本】 AEDを使った児童・生徒への「命の教育」の取り組み状況は。

【教育部長】 小学校6校、中学校11校で避難訓練などのとき、実施訓練を含めた学習を行っている。
【楠本】 心肺蘇生法を通じての「命の教育」の実践体験を今以上、取り組まれるよう要望する。



心臓マッサージ(胸骨圧迫)

キの検査体制も強化し、消費者への食の安全に努めていく。

【蓮池】 「公共施設など」にも節電及びエネルギー対策としてソーラーパネルを設置すべきではないか。
【市民環境部長】 新規の施設には、太陽光システムを導入することを基本にしている。

【蓮池】 高校再編への対応として「経済的負担の通学支援策」。また、地域の高校は残しておくべき。
【教育部長】 通学支援策などどのような対応が可能か検討する。存続を求め県教委に働きかけをしていきたい。

【蓮池】 教育の独立性「教科書選定」などについては、毅然に対応を。教育長 基本的な意義を踏まえて教育行政にあたるべきと考えている。

【蓮池】 教師の多忙化防止・提出物の軽減を。
【教育部長】 教師の負担が増さないように指導をしている。

【観光振興について】
【楠本】 地域おこし策で注目されている「フィルムコミッション」の天草における取り組みは。

【経済部長】 映画・テレビなどの撮影を誘致・支援する「フィルムコミッション」が設置されて10年になり、これまで619件の問い合わせで、200件の実績がある。昨年の直接的経済効果とパブリシティ効果を合わせて約4億円と推計される。本年、牛深で大竹しのぶさん主演の映画「ワッゲンオッゲン」のロケも行われた。

【文化振興について】

【楠本】 現在、世界遺産登録や天草ジオパーク認定など、業務が多忙である。文化財行政と文化振興が無理のないよう、教育委員会と市長部局に分けられないか。
【市長】 ご提言については、組織改革にあわせ検討していきたい。